

「なんでだろう？？？ なぜだろう？？？」

～そう思ったことを調べてみませんか～



けんきゅう

## ①どのような研究をするかテーマをえらぼう

みのまわりや、ふだんの生活中からテーマをみつけましょう。

○教科書の 内容や 授業でやったことを もっといろいろなもので ためしてみる。

○生活の中で 「なんでだろう？」と 思ったことを 調べる。

○新聞や テレビをみて 「やってみたいな」「できるかな」と 思ったことを ためしてみる。

○自分で 材料を集めて ものを作ってみる。

○いろいろものを 集めて 名前を調べたり 仲間わけをしたりする。



けんきゅう

けいかく

## ②どのように研究をすすめるか計画をたてよう

○どのような方法・順序で 研究を 進めていくか 考えましょう。

テーマに関係のありそうな本やインターネットで調べたり、家の人にそうだんしよう。

○実験や観察の方法を考える。

材料・道具・調べる日・時こくなども計画しよう。



○実験をする前に 結果を 予想しておくことが 大事。

○研究用のノートを1さつ用意し、実験や観察、予想・結果を 全部それに記録しよう。

### こころがけること

☆実験は おなじことでも なんかいか くりかえしてやってみよう。

★しっぱいしたら、どこが悪かったのかを考えて やりかたをかえて やってみよう。

☆くらべることを大切にしよう。

- 同じ しゅるいの あいだで
- ちがう しゅるいの あいだで
- 場所の ちがいによって
- 時間の ちがいによって
- じょうけんを かえて



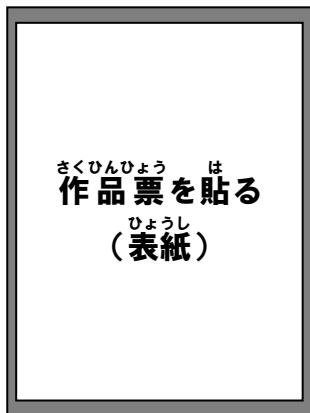
☆調べたことは 分かりやすく 記録しよう。

•写真にとったり 絵(スケッチ)・図・表(グラフ)にかいたり、実物をのこす  
ことがだいじ

★動物・植物は大切にしよう。動物が弱ってしまうようないかたはやめましょう。

### ③研究のまとめ方で注意すること

○かたち



- ・A4またはB5サイズの用紙やノート、ファイルにまとめる。
- ・模造紙に書いたものを写真にとってA4(B5)のファイルに綴じたり、A4(B5)のファイルポケット等にまとめたりすることはOK！
- ・資料などを織り込んで貼り付けない。
- ・实物の貼付はしない。【写真で張るようにする。】
- ・表紙に作品票を張る。【指導者名は、担任の先生の名前】

○かくこと

1. 研究のテーマ（なにを研究したのか。）
2. 研究のどうき（なぜこの研究をしようと思ったのか。）
3. 研究のもくひょう（どんな自當を持って研究したか。）
4. 研究の方法（どんな方法で研究したのか。）
5. 条件や観察の結果（表、グラフ、図などに整理する。）
6. 考察（どんなことがわかったか。予想とのちがい。）
7. 反省、感想（どんなことがよくて、どんなことが悪かったか。これからやってみたいこと。）
8. なにを参考にして研究を進めたか。（本のなまえなど。）



写真があるとよいですね



### ④研究テーマの例

#### <ていがくねん>

- ・カタツムリのたべものと、うんちのかんさつ
- ・アサガオのつるしらべ
- ・ひまわりとおひさま
- ・くだもののすいえい
- ・カエルのジャンプ
- ・ひかりにあつまるむし
- ・しゃぼんだまのけんきゅう
- ・ゴムでうごくおもちゃ
- ・いしあつめ
- ・ススキのけんきゅう

#### <中 学 年>

- ・音のカーニバル
- ・ヘチマやキュウリの生長
- ・果物や野菜ジュースのけんきゅう
- ・でんぱんはどこにある
- ・タマネギのけんきゅう
- ・ミノムシのかんさつ
- ・クモのすのけんきゅう
- ・アリジゴクのかんさつ
- ・風車の力くらべ
- ・できたよ 大きなシャボン玉

#### <高 学 年>

- ・酸素はどうすればできる
- ・光と植物の関係
- ・風はどうして吹くのだろう
- ・酸性雨について調べよう
- ・風力発電の研究
- ・渦巻きの研究
- ・プランクトンの研究
- ・粉せっけんと合成せんざい
- ・草花の水の吸い上げ方
- ・薬品が草花の生長に及ぼす影響 など

# はつめい はっけん くふうさくひん 発明・発見、工夫作品をつくろう！

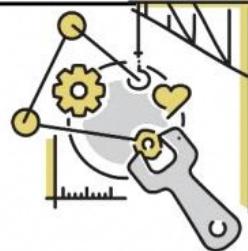
## ○発明・発見、工夫作品を作るための手順

① 生活で困っていることからスタート！

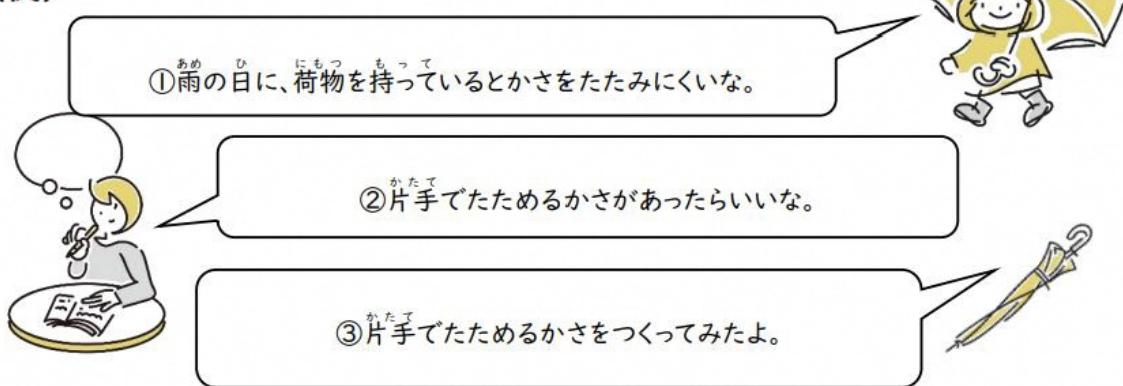
② 「こんなものあったらいいな。」

「これ、もっとこうなったらしいな」を思い浮かべてみよう。

③ 身の回りの物を工夫したり、組み合わせたりして、実際に作ってみよう



### (例)



## ○その他

・夏休みの間に作成して、夏休み明けに学校に持ってきましょう。

・作品の大きさに決まりはありません。

・工夫したことや作品の説明を付ける場合は、A4のノートにまとめて持ってきましょう。（作品だけでもOK）

・発明・工夫作品に名前を付けましょう。

・作品票（別紙）を記入して、作品に貼りましょう。【発明工夫に○をする。】